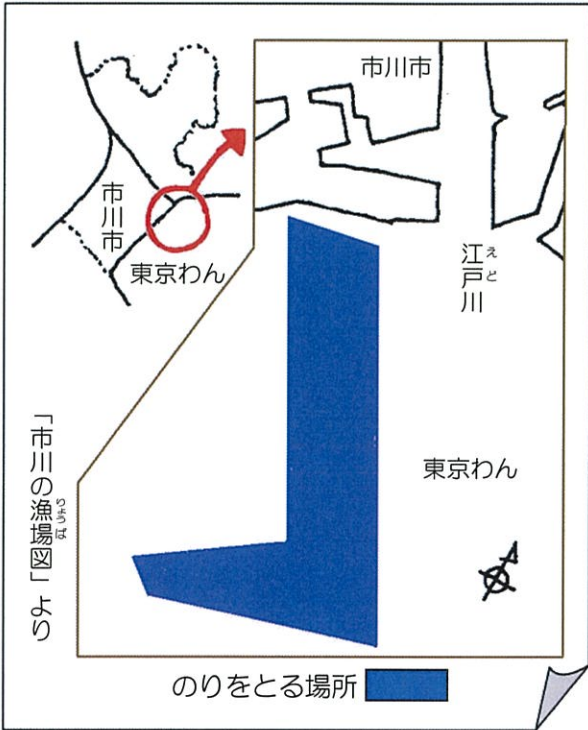


※ のり作りの仕事しごと（読み物）

市川市ではのりがとれます。どこでとれるのか調べました。



のりは、海でとって作るんだね。船を使ってとりにいくのかな。



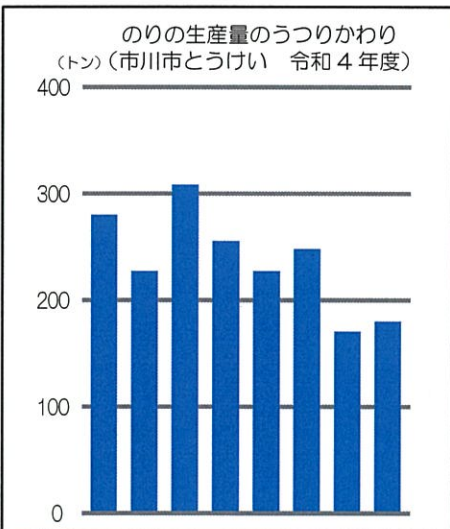
海からとってきて、そのあとどうしているのか、調べてみよう。



のりをとる場所が、ずいぶん細長いけれど、のりはその場所にしかないのかな？



グラフを見て、のりがどのくらいとれるのか調べました。



のりの生産量は、ふえたりへったりしているね。



ふえたりへったりしているのはどうしてだろう？



- のりはどのようにしてとっているのか？
- のりをとるときくふうの工夫は？
- とったのりはどうしているのか？

調べてみましょう。

のり作りをしている方の家に見学に行き、のり作りの一年間について、お話を聞きました。



どんな工夫をしていますか？



とったのりは、そのあとどうしているのですか？

海で種つけをすると、天気や海水の温度おんどにえいきょうされるので、今では、陸の上でのりの種たねを育てることが多いです。大きな水車にあみをまきつけ、そこでのりの種を育てます。機械きかいを使うようになってきたのも、工夫です。



とったのりは、その日のうちにかわかして「乾かのり」にします。昔は、手で仕事をしていましたが、今は全自動ぜんじどうのり乾かんそう機で1時間に 1,500～3,000 まいの乾かのりを作ります。乾かのりをもとにして、「やきのり」「もみのり」「あじつけのり」「つくだに」を作って全ぜん国こくに売りに出しています。

のり作りをする人の話

- みんなによろこんで食べてもらえる、おいしいのりを作りたいです。
- のりがよく育つように、天気や海の温度が気になります。海もきれいであってほしいです。

